

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【1】 計画・設計の見直し 施策9 】

上向きシールド工法採用によるコスト縮減

工事名：国道25号御堂筋共同溝立坑工事

概要：【従来】PCウェル工法、開削工法 ⇒ 【新】上向きシールド工法

効果

- 共同溝立坑の設置にあたり、地上から下方へ掘削を進める従来工法では、本溝との接続部において止水対策に補助工法（凍結工法）を必要としていたが、本溝からシールドマシンを発進させ掘削する上向きシールド工法を採用することにより、止水対策の補助工法（凍結工法）が不要となり、補助工法の設備にかかる費用を縮減し工事コストの改善を図った。

■工事費を23億円から15億円に改善（改善額8億円 改善率約34%）

